

平成 2 4 年 9 月 1 1 日

市が資本金の 2 分の 1 以上を出資等
している法人の経営状況説明書
(廿日市市土地開発公社)

廿 日 市 市

目

次

廿日市市土地開発公社

平成 2 3 年度事業報告書	1
平成 2 3 年度収支計算書	3
貸借対照表（平成 2 4 年 3 月 3 1 日現在）	4
平成 2 3 年度利益剰余金計算書	5
平成 2 4 年度事業計画書	7
平成 2 4 年度収支予算書	8

事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

事業の概要

(1) 総括事項

土地造成事業は、下平良二丁目地区埋立事業について、埋立本体工事Ⅱ期分の一部を実施した。

土地の処分では、公共事業代替用地及び大野中央地区土地区画整理事業用地の全部を処分した。

(2) 処務に関する事項

ア 登記事項

登記年月日	登 記 事 項
23. 5. 23	理事の変更
24. 3. 27	理事の変更

イ 議決事項

機 関 名	議決年月日	件 名
理 事 会	23. 5. 26	平成 22 年度事業報告及び収支決算の承認について
〃	24. 3. 27	平成 23 年度補正予算（第 1 号）について 平成 24 年度当初予算について

ウ 役員に関する事項

異動年月日	役 職	新	旧
23・5・20	理 事	徳原 光治 (就任)	林 忠正 (23.5.19 退任)
	〃	三分一 博史 (就任)	堀田 憲幸 (23.5.19 退任)
	〃	仁井田 和之 (就任)	大畑 美紀 (23.5.19 退任)
	〃	井原 泰彦 (就任)	田中 敏治 (23.5.19 退任)
	〃	川本 達志 (重任)	
	〃	岩根 秀樹 (重任)	
	〃	梶原 安行 (重任)	
	〃	大島 博之 (重任)	
	〃	原田 忠明 (重任)	
	〃	永尾 敏昭 (重任)	
24・3・27	理 事	堀野 和則 (就任)	永尾 敏昭 (24.3.26 辞任)
	〃		川本 達志 (24.3.26 辞任)

(3) 業務に関する事項

ア 取得事業

(ア) 土地造成事業

事 業 名	事 業 計 画		事 業 実 績	
	面 積	事 業 費	面 積	事 業 費
	m ²	千円	m ²	千円
下平良二丁目地区埋立事業	—	99,054	—	99,050
合 計	—	99,054	—	99,050

(注) 支払利息を除く。

イ 処分事業

(ア) 公有地取得事業

事 業 名	事 業 計 画		事 業 実 績	
	面積 (m ²)	事業費 (千円)	面積 (m ²)	事業費 (千円)
公 共 事 業 代 替 用 地	305	40,609	305	40,609
大野中央地区土地区画整理事業	135	9,661	135	9,661
合 計	440	50,270	440	50,270

収支計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

1. 収入の部

科 目	本年度決算額	前年度決算額	差 引 増 減
	円	円	円
I 事業収益	50,269,110	222,802,939	△ 172,533,829
公有地取得事業収益	50,269,110	222,802,939	△ 172,533,829
土地造成事業収益	0	0	0
II 事業外収益	2,826,188	3,129,350	△ 303,162
受 取 利 息	533,548	792,598	△ 259,050
雑 収 益	2,292,640	2,336,752	△ 44,112
当期収入合計 (A)	53,095,298	225,932,289	△ 172,836,991

2. 支出の部

科 目	本年度決算額	前年度決算額	差 引 増 減
	円	円	円
I 事業原価	50,269,110	222,802,939	△ 172,533,829
公有地取得事業原価	50,269,110	222,802,939	△ 172,533,829
土地造成事業原価	0	0	0
II 販売費及び一般管理費	1,882,122	1,950,320	△ 68,198
販売費及び一般管理費	1,882,122	1,950,320	△ 68,198
当期支出合計 (B)	52,151,232	224,753,259	△ 172,602,027
当期収支差額(A)-(B)	944,066	1,179,030	△ 234,964

(本年度決算額欄の当期収支差額 944,066 円は、準備金として整理した。)

貸借対照表

平成24年3月31日現在

科 目	本年度残高	前年度残高	差引増減
	円	円	円
資 産 の 部			
Ⅰ 流動資産			
現金及び預金	59,553,353	144,407,358	△ 84,854,005
公有用地	1,240,914,093	1,282,531,912	△ 41,617,819
開発中土地	947,516,167	845,231,082	102,285,085
前渡金	46,600,000	0	46,600,000
流動資産合計	2,294,583,613	2,272,170,352	22,413,261
Ⅱ 固定資産			
有形固定資産	553,835	728,735	△ 174,900
無形固定資産	386,750	565,250	△ 178,500
固定資産合計	940,585	1,293,985	△ 353,400
資 産 合 計	2,295,524,198	2,273,464,337	22,059,861
負 債 の 部			
Ⅰ 流動負債			
未払金	107,378,970	538,979,530	△ 431,600,560
流動負債合計	107,378,970	538,979,530	△ 431,600,560
Ⅱ 固定負債			
長期借入金	1,926,017,247	1,473,300,892	452,716,355
固定負債合計	1,926,017,247	1,473,300,892	452,716,355
負 債 合 計	2,033,396,217	2,012,280,422	21,115,795
資 本 の 部			
Ⅰ 資本金			
基本財産	5,000,000	5,000,000	0
資本金合計	5,000,000	5,000,000	0
Ⅱ 準備金			
前期繰越準備金	256,183,915	255,004,885	1,179,030
当期純利益	944,066	1,179,030	△ 234,964
準備金合計	257,127,981	256,183,915	944,066
資 本 合 計	262,127,981	261,183,915	944,066
負債及び資本合計	2,295,524,198	2,273,464,337	22,059,861

利益剰余金計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

科 目	金 額	額
I 前期繰越準備金	円	円
		256,183,915
II 当期純利益	<u>944,066</u>	<u>944,066</u>
準備金合計		<u>257,127,981</u>

事業計画書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

総括事項

(1) 業務方針

平成24年度の取得事業は、土地造成事業として下平良二丁目地区埋立事業を推進する。

処分事業は、公有地取得事業として、廿日市駅南地区整備事業用地の全部を廿日市市へ処分する。

(2) 事業内容

ア 取得事業

区 分	事業量	事業費	説 明
	m ²	千円	
土地造成事業	—	512,883	下平良二丁目地区埋立事業
合 計	—	512,883	

(注) 支払利息を除く。

イ 処分事業

区 分	事業量	事業費	説 明
	m ²	千円	
公有地取得事業	1,556	408,601	廿日市駅南地区整備事業
合 計	1,556	408,601	

(3) 資金の借入及び償還計画

23年度末残高	24年度借入予定額	24年度償還予定額	24年度末残高
千円	千円	千円	千円
1,926,017	2,680,107	2,500,389	2,105,735

収支予算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

1 収入の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 引 増 減
	千円	千円	千円
I 事業収益	408,601	51,078	357,523
公有地取得事業収益	408,601	51,078	357,523
II 事業外収益	985	2,482	△ 1,497
受取利息	30	190	△ 160
雑収益	955	2,292	△ 1,337
III 資本的収入	2,680,107	3,010,875	△ 330,768
長期借入金	2,680,107	3,010,875	△ 330,768
当期収入合計	3,089,693	3,064,435	25,258

2 支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 引 増 減
	千円	千円	千円
I 事業原価	408,601	51,078	357,523
公有地取得事業原価	408,601	51,078	357,523
II 販売費及び一般管理費	2,573	2,544	29
販売費及び一般管理費	2,573	2,544	29
III 資本的支出	3,029,373	2,648,917	380,456
公有地取得事業費	8,812	16,146	△ 7,334
土地造成事業費	520,172	614,016	△ 93,844
借入金償還金	2,500,389	2,018,755	481,634
当期支出合計	3,440,547	2,702,539	738,008

(資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 349,266 千円は、当年度損益勘定留保資金で補てんする。)

平成 2 4 年 9 月 1 1 日

市が資本金の 2 分の 1 以上を出資等
している法人の経営状況説明書
(財団法人 廿日市市水産振興基金)

廿 日 市 市

中華民國二十九年

中華民國二十九年
一月一日
（一九四〇年一月一日）

中華民國二十九年

目

次

財団法人 廿日市市水産振興基金

平成23年度事業報告書	1
平成23年度収支計算書	4
貸借対照表（平成24年3月31日現在）	6

平成24年度事業計画書	7
平成24年度収支予算書	11

.....
.....
.....
.....
.....

.....
.....

事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

1 事業の概要

(1) 総括事項

新たな水産業への展開、漁業技術の開発と普及、漁業の担い手の育成、漁業生産基盤の整備及び市民と水産業の交流推進の5つを柱として、廿日市市廿日市地域において事業を展開し、廿日市地域水産業の振興に努めた。

(2) 処務に関する事項

ア 登記事項

登記年月日	登 記 事 項
H23. 5. 24	理事の変更
H24. 1. 20	理事の変更

イ 役員に関する事項

異動年月日	役 職	新	旧
H23. 4. 28	理 事	林 薫	丸山 孝昭
H24. 1. 12	理 事	堀野 和則	永尾 敏昭

ウ 議決事項

機関名	議決年月日	件 名
理事会	H23. 4. 28	(1) 役員の補欠選任について
	H23. 5. 25	(1) 平成22年度事業報告書、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録について
	H24. 1. 12	(1) 役員の補欠選任について
	H24. 3. 26	(1) 平成24年度事業計画及び収支予算について (2) 最初の評議員選定委員会の設置運営規程の制定について (3) 常務理事の互選について (4) 役員の補欠選任について

(3) 事業内容

ア 新たな水産業への展開

項 目	事 業 内 容
法人の管理運営	設立趣意に基づき、公益法人として適切な業務運営を行うとともに、新公益法人制度への移行準備を行った。（通年）
財産の管理・運用	預金先の安全性を確認した上で、基本財産及び特定資産は、大口定期預金で運用し、その他の資産は、普通預金（利息付）で管理した。（通年）
水産業振興策の企画及び調整	行政機関及び水産関係団体との連絡協調を図り、廿日市地域における水産業振興策の総合的な企画及び調整を行った。（通年）

イ 漁業技術の開発と普及

(ア) 普及指導の推進

項 目	事 業 内 容
漁場環境調査	かき養殖漁場の水質調査（８回）及び底質調査（２回）を実施した。（通年）
プランクトン調査	独立行政法人水産大学校とともに、沿岸海域の植物プランクトン調査（５回）及び貝毒プランクトン調査（４回）を実施した。（通年）
かき養殖に関する指導	かき養殖に関する調査結果・情報をもとに養殖指導を行った。
情報提供	漁業に係る各種情報の提供を行った。

ウ 漁業の担い手の育成

項 目	事 業 内 容
技術交流及び青年・女性グループの育成	青年部・女性部を中心にした「廿日市漁民の森づくり」活動への取組みを支援した。

エ 漁業生産基盤の整備

(ア) 漁場及び水産施設の整備促進

項 目	事 業 内 容
漁場整備事業	干潟の耕うん整地0.47haに要する経費を助成し、かき杭打垂下式漁場の整備促進を図った。

(イ) 漁業経営安定対策の推進

項 目	事 業 内 容
かき養殖経営安定対策事業	かき養殖共済掛金の一部を助成し、災害による経営上の打撃を軽減して、養殖経営の安定を図った。

(ウ) 事業推進資金の活用

前年度末残高	本年度積立取崩額	本年度末残高
88,000,000円	11,000,000円	77,000,000円

オ 市民と水産業の交流推進

項 目	事 業 内 容
情報提供	一般市民に対し、潮位表150部の販売を行った。
かき消費拡大事業	地域イベント等における、かきの消費拡大を図る取組みを支援した。 参加イベント数 10 (4月、11月～2月)
かき料理講習会	かき料理講習会の開催を推進し、かき料理の普及拡大を図った。 開催回数 30回 (2月)

2 事業運営実績

事 項	計画額 (円)	決算額 (円)	執行率 (%)
ア 新たな水産業への展開費	100,000	65,940	65.9
イ 漁業技術の開発と普及費	5,085,000	4,420,140	86.9
ウ 漁業の担い手の育成費	335,000	225,000	67.2
エ 漁業生産基盤の整備費	10,200,000	8,181,173	80.2
オ 市民と水産業の交流推進費	1,080,000	800,660	74.1
合 計	16,800,000	13,692,913	81.5

収支計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

1 収入の部

科 目	本年度決算額	前年度決算額	差 引 増 減
	円	円	円
I 基本財産運用収入	269,013	755,000	△ 485,987
基本財産利息収入	269,013	755,000	△ 485,987
II 特定資産運用収入	94,928	347,515	△ 252,587
事業推進積立資産利息収入	94,928	347,515	△ 252,587
III 事業収入	373,220	363,730	9,490
市民と水産業の交流推進事業収入	373,220	363,730	9,490
IV 補助金等収入	1,200,000	1,200,000	0
民間助成金収入	1,200,000	1,200,000	0
V 雑収入	781	1,118	△ 337
受取利息収入	781	1,118	△ 337
VI 特定資産取崩収入	11,000,000	27,015,000	△ 16,015,000
事業推進積立資産取崩収入	11,000,000	27,015,000	△ 16,015,000
当期収入合計(A)	12,937,942	29,682,363	△ 16,744,421
前期繰越収支差額	885,440	363,216	522,224
収入合計(B)	13,823,382	30,045,579	△ 16,222,197

2 支出の部

科 目	本年度決算額	前年度決算額	差 引 増 減
	円	円	円
I 事業費	13,626,973	29,097,139	△ 15,470,166
旅費交通費	0	29,360	△ 29,360
通信運搬費	8,975	8,870	105
消耗品費	586,042	566,476	19,566
賃借料	115,883	154,125	△ 38,242
助成金支出	8,606,173	24,028,408	△ 15,422,235

委 託 費	4,307,500	4,307,500	0
租 税 公 課	2,400	2,400	0
Ⅱ 管 理 費	65,940	63,000	2,940
旅 費 交 通 費	42,000	42,000	0
消 耗 品 費	2,940	0	2,940
租 税 公 課	21,000	21,000	0
支 出 合 計(C)	13,692,913	29,160,139	△ 15,467,226
当期収支差額(A)-(C)	△ 754,971	522,224	△ 1,277,195
次期繰越収支差額(B)-(C)	130,469	885,440	△ 754,971

貸借対照表

平成24年3月31日現在

科 目	本年度残高	前年度残高	差 引 増 減
	円	円	円
資 産 の 部			
I 流 動 資 産			
現金預金	125,456	885,440	△ 759,984
未 収 金	5,013	0	5,013
流動資産合計	130,469	885,440	△ 754,971
II 固 定 資 産			
基本財産			
定期預金	250,000,000	250,000,000	0
特定資産			
事業推進資金積立資産	77,000,000	88,000,000	△ 11,000,000
固定資産合計	327,000,000	338,000,000	△ 11,000,000
資 産 合 計	327,130,469	338,885,440	△ 11,754,971
負 債 の 部			
負 債 合 計	0	0	0
正味財産の部			
正 味 財 産			
基本金	250,000,000	250,000,000	0
特定資産	77,000,000	88,000,000	△ 11,000,000
収 支 差 額	130,469	885,440	△ 754,971
正味財産合計	327,130,469	338,885,440	△ 11,754,971
負債及び正味財産合計	327,130,469	338,885,440	△ 11,754,971

事業計画書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

1 総括事項

(1) 業務方針

新たな水産業への展開、漁業技術の開発と普及、漁業の担い手の育成、漁業生産基盤の整備及び市民と水産業の交流推進の5つを柱として、廿日市市廿日市地域において事業を展開し、廿日市地域水産業の振興に努める。

(2) 処務に関する事項

理事会は年2回（5月、3月）開催し、事業計画・収支予算、事業報告・収支決算、その他法人の運営に関する重要な事項の審議を行う。

(3) 事業内容

ア 新たな水産業への展開

項 目	事 業 内 容
法人の管理運営	設立趣意に基づき、公益法人として適切な業務運営を行うとともに、新公益法人制度への移行手続を行う。（通年）
財産の管理・運用	預金先の安全性を確認した上で、基本財産及び特定資産は、大口定期預金で運用し、その他の資産は、普通預金（利息付）で管理する。（通年）
水産業振興策の企画及び調整	行政機関及び水産関係団体との連絡協調を図り、廿日市地域における水産業振興策の総合的な企画及び調整を行う。（通年）

イ 漁業技術の開発と普及

(7) 普及指導の推進

項 目	事 業 内 容
漁場環境調査	かき養殖漁場の水質及び底質調査を実施する。（通年）

プランクトン調査	独立行政法人水産大学校とともに、沿岸海域の植物プランクトン及び貝毒プランクトン調査を実施する。 (通年)
かき養殖に関する指導	かき養殖に関する調査結果・情報をもとに養殖指導を行う。(通年)
情報提供	漁業に係る各種情報を提供する。(通年)

(イ) 技術開発の推進

項 目	事 業 内 容
かき養殖技術開発の推進	広島県水産海洋技術センターの指導のもとに、養殖技術開発の取組みを支援する。 (計画額 500千円)

ウ 漁業の担い手の育成

項 目	事 業 内 容
技術研修及び交流並びに青年・女性グループの育成	技術研修会及び技術交流の実施並びに交流学習活動の促進を図る。(随時)
	青年部・女性部を中心にした「廿日市漁民の森づくり」活動への取組みを支援する。 (計画額 300千円)

エ 漁業生産基盤の整備

(ア) 漁場及び水産施設の整備促進

項 目	事 業 内 容
漁場整備事業	海底耕うんに要する経費を助成し、かき養殖漁場の底質改善を促進して、漁場生産力の回復を図る。 (計画額 500千円)

	かき筏係留施設の整備に要する経費を助成し、かき筏垂下式漁場の整備促進を図る。 (計画額 5,000千円)
水産施設整備事業	給油施設の整備に要する経費を助成し、漁船燃料の安定供給を図る。 (計画額 3,000千円)
赤潮被害予防対策事業	かき養殖筏への溶存酸素循環ポンプ設置等に要する経費を助成し、赤潮被害発生の予防を図る。 (計画額 1,000千円)

(イ) 漁業経営安定対策の推進

項 目	事 業 内 容
平成18年度かき風評被害対策資金の融通に関する損失補償	平成18年度かき風評被害に係る被害対策資金の融資を行った広島県信用漁業協同組合連合会に対し、貸付金に損失が生じた場合に損失補償を行う。 対象残高 14,160,000円 期 間 平成24年度から平成31年度まで (消滅時効5年を含む)
かき養殖経営安定対策事業	かき養殖共済掛金の一部を助成し、災害による経営上の打撃を軽減して、養殖経営の安定を図る。 (計画額 5,500千円)

(ウ) 事業推進資金の活用

前年度末残高	本年度取崩額	本年度末残高
77,000,000円	20,000,000円	57,000,000円

オ 市民と水産業の交流推進

項 目	事 業 内 容
情報提供	一般市民に対し、水産に関する知識・情報の提供 (潮位表の販売等)を行う。(随時)
かき消費拡大事業	地域イベント等において、かきの美味しさをPRし 消費拡大を図る取組みを支援する。 (計画額 400千円)
かき料理普及事業	かき料理の普及を促進し、地元産かきの魅力発信と 食育の推進を図る。(1月～3月)

2 業務に関する事項
事業計画

事 項	本 年 度	前 年 度	増 減
	千円	千円	千円
ア 新たな水産業への展開費	100	100	0
イ 漁業技術の開発と普及費	5,085	5,085	0
ウ 漁業の担い手の育成費	335	335	0
エ 漁業生産基盤の整備費	15,000	10,200	4,800
オ 市民と水産業の交流推進費	1,080	1,080	0
合 計	21,600	16,800	4,800

収支予算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

1 収入の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 引 増 減
	千円	千円	千円
I 基本財産運用収入	124	269	△ 145
基本財産利息収入	124	269	△ 145
II 特定資産運用収入	37	80	△ 43
事業推進積立資産利息収入	37	80	△ 43
III 事業収入	358	350	8
市民と水産業の交流推進事業収入	358	350	8
IV 補助金等収入	1,200	1,200	0
民間助成金収入	1,200	1,200	0
V 雑収入	1	1	0
受取利息収入	1	1	0
VI 特定資産取崩収入	20,000	15,000	5,000
事業推進積立資産取崩収入	20,000	15,000	5,000
当期収入合計(A)	21,720	16,900	4,820
前期繰越収支差額	180	400	△ 220
収入合計(B)	21,900	17,300	4,600

2 支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 引 増 減
	千円	千円	千円
I 事業費	21,500	16,700	4,800
旅費交通費	130	130	0
通信運搬費	15	15	0
消耗品費	632	632	0
賃借料	210	210	0

助成金支出	16,200	11,400	4,800
委託費	4,310	4,310	0
租税公課	3	3	0
Ⅱ 管理費	100	100	0
旅費交通費	72	72	0
通信運搬費	2	2	0
消耗品費	5	5	0
租税公課	21	21	0
Ⅲ 予備費	300	500	△ 200
予備費	300	500	△ 200
当期支出合計(C)	21,900	17,300	4,600
当期収支差額(A)-(C)	△ 180	△ 400	220
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0

平成 2 4 年 9 月 1 1 日

市が資本金の 2 分の 1 以上を出資等
している法人の経営状況説明書
(財団法人 もみのき森林公園協会)

廿 日 市 市

目

次

財団法人 もみのき森林公園協会

平成23年度事業報告書	1
平成23年度収支計算書（一般会計）	4
貸借対照表（平成24年3月31日現在）	5
平成23年度収支計算書（収益事業特別会計）	6
貸借対照表（平成24年3月31日現在）	8
年度別公園利用者数	9
平成24年度事業計画書	11
平成24年度収支予算書（一般会計）	14
平成24年度収支予算書（収益事業特別会計）	15

事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

事業の概要

(1) 総括事項

広島県から指定管理者に選定された財団法人もみのき森林公園協会は、多様化する利用者の要望に的確に対応したサービスを提供することで、その利用の促進を図り、地域間交流の拠点性を高め、地域を活性化し、利用者の森林公園等に対する理解と啓発に努めることを目的として運営を行った。

(2) 処務に関する事項

議決事項

機関名	議決年月日	件名
理事会	23. 5. 24	(1) 平成22年度事業報告及び収支決算について (2) 次期理事長・副理事長及び常務理事の選出について
理事会	24. 3. 27	(1) 平成23年度補正予算(案)の承認について (2) 平成24年度事業計画(案)収支予算(案)の承認について (3) 平成24年度一時借入最高限度額の承認について (4) 平成24年度資産運用計画(案)の承認について (5) 公益法人制度改革に係る移行方針(案)について (6) 役員選任規程の改正(案)の承認について

(3) 業務に関する事項

事業実績

ア 公園施設の管理運営

項目	事業内容
公園維持管理事業	管理道の草刈及びごみ収集業務と利用者の安全確保と盗難防止のためパトロールを行った。
公園利用者に対する保険等の事業	利用者・管理車両の保険等加入手続きを行った。
公園設備機器の保守維持管理業務	汚水処理施設並びに設備機器の点検及び修繕、ゴミの収集・分別・搬出・処理を行った。

イ 利用の促進

項 目	事 業 内 容
宿泊施設の利用促進	多様化する利用客の要望に対応するため、次のとおり利用の促進を図った。 1) 学校関係の団体利用促進のため、団体利用料金を設定し利用促進を図った。 2) 閑散期に宿泊パック（低料金）を導入し好評を得た。 3) インターネット予約サイトの定期的更新及び季節に応じた宿泊パックの導入により県外客の誘致を図った。
オートキャンプ場及び野外施設の利用の促進	野外施設の利用の促進を図るため、次のとおり実施した。 1) 次代を担うキャンパーの育成のため「わんぱくキャンプ」を継続実施して好評を得た。 2) リピーター客・連泊者に対する優先的予約を図った。 3) シルバーを対象とした割引を実施した。
広報活動	各種のイベントやタイムリーな情報を提供する場として、次の媒体を利用して広報活動に取り組んだ。 1) 地元新聞の「西広島タイムス」「中国新聞」を媒体とするイベントの定期的広報活動を展開した。 2) 利用者へのイベントの告知活動（DM）を展開した。 3) 各種アウトドア雑誌を媒体とする広報活動を展開した。 4) 集客施設への出店及びPR活動を展開した。 ・ひろしま夢ぷらざ ・呉ポートピアパーク ・公民館等の情報コーナー ・中央森林公園
施設の有効利用	駐車場等を有効利用し集客増を図った。 1) バイク及び自動車のクラブミーティングなどに駐車場の部分的専用使用を許可し集客増を図った。 2) 環境団体に、年間を通じて継続的に利用できる環境学習の場として、もみのき森林公園のフィールドを提供した。 3) 「もみのき荘」周辺の緑化事業として、地域団体の協力を得てサクラ・レンゲツツジなど花の咲く木の植栽を実施した。 4) 遊休施設を利用してハーブを植栽し、ハーブを利用したクラフトを製作して販売した。

ウ 地域交流の拠点性を高め、地域を活性化する事業の実施

項 目	事 業 内 容
環境学習事業の展開	○もみのき森林公園及び西中国山地の自然環境と施設を活用した青少年の野外活動の場を提供した。 ・クラフト教室 延212人 ・風車教室 延228人 ・魚のつかみ取り 延940人 ・ちゅーピーこどもバス教室 延604人 ・泥んこキッズ 延70人 ・冬は雪遊び 延198人 ・やってみよう森づくり 150人 ・雪山たんけん 延235人 ・わんぱくキャンプ 延104人 ○ボランティア団体等による森林整備を実施した。 ・地域団体による荒廃地への継続的な植樹活動 20人 ・林業技術講習会 延69人
地域振興事業の展開	○地域を活性化するため地元住民と連携を推進した。 1) 「花のある吉和作り実行委員会」への協力 延7人 2) 地域イベントへの積極的参加 延23人 ① 夏祭り ② 花いっぱい運動（ひまわり）
スポーツ振興事業の展開	○宿泊施設と運動施設の連携による活動の場の提供を推進した。 ・合宿の受入れ(サッカー・テニス・バレー・バドミントン・マーチングバンド・企業運動会等) 2,335人 ・サイクル耐久レース・シクロクロス 795人 ・スキー大会・スキー教室 延61人
その他県民の憩いの場の提供事業の展開	○地域団体との後援・協賛事業を展開した。 ・第11回春選抜吉和神楽競演大会 800人 ・第8回グラウンドゴルフ大会 137人 ・昭和のCARにばる 2011 2,000人 ○もみのき湿原の保全とさくらの森の再生を行った。 ・第10回「山の日」県民の集い 800人 ○森林に親しみ、森林の保全活動を行う場の提供を行った。 ・森のフェスティバル 3,500人

収支計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(一般会計)

1 収入の部

科 目	本年度決算額	前年度決算額	差 引 増 減
	円	円	円
I 補助金等収入	10,000,000	9,923,810	76,190
受託金収入	10,000,000	9,923,810	76,190
II 特定資産取崩収入	0	0	0
退職給与引当預金取崩収入	0	0	0
経営基盤強化基金取崩収入	0	0	0
III 雑収入	6,102	15,580	△ 9,478
受取利息	6,102	15,580	△ 9,478
当期収入合計(A)	10,006,102	9,939,390	66,712
前期繰越収支差額	103,315	87,735	15,580
収入合計(B)	10,109,417	10,027,125	82,292

2 支出の部

科 目	本年度決算額	前年度決算額	差 引 増 減
	円	円	円
I 事務管理費	10,000,000	9,923,810	76,190
受託管理費	10,000,000	9,923,810	76,190
II 一般管理費	0	0	0
需用費	0	0	0
役務費	0	0	0
当期支出合計(C)	10,000,000	9,923,810	76,190
当期収支差額(A)-(C)	6,102	15,580	△ 9,478
次期繰越収支差額(B)-(C)	109,417	103,315	6,102

貸借対照表

平成24年3月31日現在

科 目	本年度残高	前年度残高	差 引 増 減
	円	円	円
資 産 の 部			
I 流 動 資 産			
現金預金	626,437	881,983	△ 255,546
未 収 金	0	0	0
流動資産合計	626,437	881,983	△ 255,546
II 固 定 資 産			
基本財産特定預金	10,100,000	10,100,000	0
固定資産合計	10,100,000	10,100,000	0
資 産 合 計	10,726,437	10,981,983	△ 255,546
負 債 の 部			
I 流 動 負 債			
未 払 金	517,020	778,668	△ 261,648
流動負債合計	517,020	778,668	△ 261,648
II 固 定 負 債			
	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	517,020	778,668	△ 261,648
正味財産の部			
正 味 財 産			
基 本 金	10,100,000	10,100,000	0
収 支 差 額	109,417	103,315	6,102
正味財産合計	10,209,417	10,203,315	6,102
負債及び正味財産合計	10,726,437	10,981,983	△ 255,546

収支計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(収益事業特別会計)

1 収入の部

科 目	本年度決算額	前年度決算額	差 引 増 減
	円	円	円
I 事業収入	124,037,101	125,601,800	△ 1,564,699
イベント収入	6,370,896	6,546,217	△ 175,321
利用料収入	42,003,706	41,106,052	897,654
食喫収入	46,407,937	45,385,622	1,022,315
売店収入	8,998,555	9,509,094	△ 510,539
自販機収入	5,416,451	5,986,932	△ 570,481
販売収入	1,446,429	1,267,131	179,298
管理収入	5,479,086	5,202,388	276,698
補助金収入	7,914,041	10,598,364	△ 2,684,323
II 雑収入	252,703	292,591	△ 39,888
雑収入	247,710	286,928	△ 39,218
受取利息	4,993	5,663	△ 670
III 特定資産取崩収入	0	0	0
退職給与引当預金取崩収入	0	0	0
減価償却引当預金取崩収入	0	0	0
経営基盤強化積立金取崩収入	0	0	0
当期収入合計(A)	124,289,804	125,894,391	△ 1,604,587
前期繰越収支差額	5,240,113	4,354,632	885,481
収入合計(B)	129,529,917	130,249,023	△ 719,106

2 支出の部

科 目	本年度決算額	前年度決算額	差 引 増 減
	円	円	円
I 事業費	2,428,981	2,573,088	△ 144,107
イベント原価	2,428,981	2,573,088	△ 144,107
II 仕入原価	29,015,615	29,584,913	△ 569,298
食喫原価	17,809,699	17,628,578	181,121
売店原価	6,792,458	7,291,501	△ 499,043
自販機原価	3,186,691	3,771,858	△ 585,167
販売原価	720,713	596,759	123,954
管理原価	506,054	296,217	209,837
III 事務管理費	92,776,328	92,845,909	△ 69,581
役員報酬	1,800,000	1,800,000	0
給職員手当	28,286,503	28,631,500	△ 344,997
賃勤手当	11,433,015	11,557,477	△ 124,462
通勤手当	11,724,612	14,029,015	△ 2,304,403
旅費	2,825,898	2,372,595	453,303
旅費	31,294	0	31,294
共済費	7,283,086	6,423,461	859,625
厚生費	199,293	153,309	45,984
需用費	18,321,246	16,832,440	1,488,806
役務費	5,440,044	5,347,596	92,448
施設管理費	76,500	195,524	△ 119,024
渉外費	132,762	61,905	70,857
広報費	1,875,429	1,607,191	268,238
会議費	25,911	16,952	8,959
会費	277,289	226,811	50,478
雑費	476	0	476
雑損	0	34,107	△ 34,107
負担金	297,143	0	297,143
委託料	1,771,384	2,228,072	△ 456,688
公租公課	795,943	787,678	8,265
減価償却引当金支出	0	540,276	△ 540,276
減価償却戻入支出	0	0	0
什器備品購入支出	178,500	0	178,500
IV 寄附金	25,000	5,000	20,000
寄付金	25,000	5,000	20,000
当期支出合計(C)	124,245,924	125,008,910	△ 762,986
当期収支差額(A)-(C)	43,880	885,481	841,601
次期繰越収支差額(B)-(C)	5,283,993	5,240,113	43,880

貸借対照表

平成24年3月31日現在

科 目	本年度残高	前年度残高	差 引 増 減
	円	円	円
資 産 の 部			
I 流 動 資 産			
現金預金	9,212,594	8,770,910	441,684
貯蔵品	2,110,295	1,792,169	318,126
前払費用	513,610	0	513,610
未収金	487,100	522,650	△ 35,550
流動資産合計	12,323,599	11,085,729	△ 1,237,870
II 固 定 資 産			
備品	339,100	160,600	178,500
車両等	203,043	203,043	0
構築物	7,706,477	7,706,477	0
経営基盤強化金積立預金	0	0	0
減価償却引当預金	6,556,725	6,556,725	0
固定資産合計	14,805,345	14,626,845	178,500
資 産 合 計	27,128,944	25,712,574	1,416,370
負 債 の 部			
I 流 動 負 債			
短期借入金	0	0	0
未払金	4,708,542	4,947,493	△ 238,951
前受金	200,000	0	200,000
預り金	2,131,064	898,123	1,232,941
流動負債合計	7,039,606	5,845,616	1,193,990
II 固 定 負 債			
経営基盤強化基金積立	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	7,039,606	5,845,616	1,193,990
正味財産の部			
正味財産			
収支差額	20,089,338	19,866,958	222,380
正味財産合計	20,089,338	19,866,958	222,380
負債及び正味財産合計	27,128,944	25,712,574	1,416,370

年度別公園利用者数(単位:人)

区 分	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
もみのき荘	12,056	13,992	12,276	11,935	12,074	11,281	12,282	12,043	12,022	10,691	10,852	10,309	10,665
研修棟	5,484	4,060	5,946	6,035	5,262	4,393	4,778	4,538	4,893	6,090	10,354	6,746	7,814
キヤンプ場	7,276	4,384	4,119	2,807	1,883	1,434	1,176	971	1,461	1,627	1,325	1,084	1,058
テニスコート	2,333	2,140	2,050	1,418	1,393	1,543	1,851	1,242	1,115	1,710	1,440	1,448	986
運動広場													
自転車	6,798	6,259	6,817	5,911	6,233	4,971	4,580	2,889	3,814	4,257	4,666	7,382	5,954
スキー場	(24,950)	(25,900)	(21,850)	(25,450)	(19,700)	(30,700)	(28,450)	3,898	4,740	4,565	5,426	4,977	3,999
野外ステージ	828	305	105	418	205	172	923	(1,000)	(17,310)	(11,900)	(8,900)	(23,800)	(26,700)
体育館	26,194	13,104	14,758	10,392	6,248	5,457	6,791	716	829	667	398	2,506	2,030
アスレチック	8,830	9,016	8,906	9,085	9,850	7,785	8,389	6,886	5,633	6,340	7,993	7,220	7,411
オートキャンプ	15,605	11,103	9,612	9,703	8,895	7,241	8,388	7,949	8,353	8,254	8,779	9,042	8,982
バーベキュー広場	4,578	4,026	3,939	3,994	3,376	4,360	3,367	6,315	6,490	6,691	7,511	6,792	6,970
その他日帰り	161,960	174,069	149,465	141,400	148,581	145,163	138,275	2,778	3,188	3,762	4,035	3,563	3,360
合 計	232,036	242,500	213,000	203,100	204,000	196,800	190,800	182,500	192,200	187,500	190,400	191,000	192,000
前年度比	93.7%	96.2%	89.9%	93.2%	100.4%	95.0%	98.5%	85.2%	118.3%	97.6%	101.5%	100.3%	100.5%

事業計画書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

1 総括事項

(1) 業務方針

広島県から指定管理者に選定された財団法人もみのき森林公園協会は、多様化する利用者の要望に的確に対応したサービスを提供することで、その利用の促進を図り、利用者の森林公園等に対する理解と啓発に努めることを目的として、各種事業を自主的・積極的に展開する。

(2) 事業内容

ア 公園施設の管理運営

項 目	事 業 内 容
公園巡視事業	危険地域の監視や禁止事項、盗難防止のためのパトロールを行う。
公園管理事業	各施設の日常点検を頻繁に行い更に施設点検日を設定し、利用者の安全確保、施設の維持管理に努める。
公園環境推進事業	ごみの分別収集を行い、来園者の環境意識の向上に努める。

イ 利用の促進

項 目	事 業 内 容
宿泊施設の利用促進	多様化する利用者の要望に対応することにより、利用を促進する。 ・西中国山地観光施設等連絡協議会とタイアップした企画を導入する。 ・宮島を訪れる観光客への誘客による利用促進を図る。 ・修学旅行生（関西方面）の誘致を行う。 ・季節に応じた宿泊料金の見直しによる利用の促進を図る。 ・閉散期の利用促進に向けた、パック商品の提供を推進する。 ・小学生を対象とした体験学習及び中・高校生の勉強合宿による利用促進を図る。 ・継続的に利用する団体客に対する配慮を行う。 ・インターネット予約の活用による県外客宿泊利用の誘致を図る。

キャンプ場及びオートキャンプ場の利用促進	次代を担うキャンパーの育成に努める。 ・ ツーリング客への割引制度の充実による利用促進を図る。 ・ 小学生を中心としたイベント（わんぱくシリーズ）の拡充を推進する。 ・ シルバー層を対象とした割引料金の周知徹底を進める。 ・ リピーター客・連泊者に対する配慮を行う。
広 報 活 動	広報活動を通して新規利用者の開拓及びリピーターの増加を図る。 ・ イベント情報・季節情報などのDMによる告知を行う。 ・ 公共施設へのルートセールスによる広報活動を行う。 ・ 各種イベント会場における施設のPRに努める。 ・ 地元新聞及び情報誌への定期的掲載を継続する。 ・ F a c e B o o kの活用によるPRに努める。
施 設 の 有 効 活 用	遊休施設の有効利用を図る。 ・ テニスコート周辺を整備活用し、青少年を対象とした自然体験学習の場を提供する。 ・ 苗畑を利用して体験活動の場を提供する。 ・ ハーブ等を利用した多目的に利用出来る畑の継続的整備を行う。 ・ 駐車場を利用した自動車イベントを積極的に誘致する。

ウ 地域間交流の拠点性を高め、地域を活性化する事業の実施

項 目	事 業 内 容
環境学習事業の展開	・ もみのき森林公園及び西中国山地の自然環境と施設を活用した青少年の野外活動の場を提供する。 ・ ボランティア団体による森林整備を促進する。 ・ 森づくり技術制度による林内整備を促進する。 ・ 環境教育団体へのフィールドの場を継続して提供する。 ・ 体験学習プログラムの一層の充実を促進する。
地域との連携による事業	・ 地元物産品の販売及び地元地域との連携を図る。 ・ 地域の資源を生かした環境学習体験を実施する。 ・ イワナのつかみ取り体験を実施する。 ・ 地元農家と連携した野菜のもぎ取り体験を実施する。 ・ 廿日市市の産品を生かした食事メニューを開発する。 ・ 「はつかいち自然体験型観光」を推進するために体験プログラムの開発と協力、それに関連した吉和自然体験活動指導者養成へのフィールドの提供と協力を推進する。
スポーツ振興事業の展開	・ 宿泊施設と運動施設の連携による活動の場を提供する。 ・ 地理的条件を生かしたスポーツ大会や、グラウンドゴルフ大会の誘致に努める。

その他県民の憩いの場の提供事業の展開	・ＪＲふれあいウォーキングを継続して開催する。 ・初心者のための自然観察登山(ハイキング)を開催する。 ・地域団体との後援・協賛事業を実施する。 「ひろしま山の日県民の集い」の開催。 「吉和神楽競演大会」への協賛。 「地域団体による植樹活動」への協力。 「エコ活動を実施する団体」への協力。 ・スノーシュー体験等を継続して開催する。
--------------------	---

エ 環境に配慮した取組

項 目	事 業 内 容
各種エネルギーと経費の削減	・ごみの発生抑制とリサイクルを進め、各種エネルギー（照明、暖房、営業時間等）の削減を図る。 ・照明器具の省エネ型機器への切替（ＬＥＤなど）に努め、光熱費の削減とＣＯ₂の削減を継続して推進する。

2 業務に関する事項

事業計画

事 項	本 年 度	前 年 度	増 減
公 園 施 設 の 管 理 運 営	10,000 千円	10,000 千円	△ 0
利 用 の 促 進	130,136	131,169	△ 1,033
地域間交流の拠点性を高め、地域を活性化する事業の実施	3,958	2,680	1278

収支予算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(一般会計)

1 収入の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 引 増 減
I 補助金等収入	千円 10,000	千円 10,000	千円 0
受託金収入	10,000	10,000	0
II 雑収入	4	20	△ 16
受取利息	4	20	△ 16
III 繰入金収入	0	0	0
一般管理費会計繰入金	0	0	0
当期収入合計(A)	10,004	10,020	△ 16
前期繰越収支差額	108	108	0
収入合計(B)	10,112	10,128	△ 16

2 支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 引 増 減
I 事務管理費	千円 10,000	千円 10,000	千円 0
受託管理費	10,000	10,000	0
II 一般管理費	0	0	0
需用費	0	0	0
III 予備費	0	0	0
予備費	0	0	0
当期支出合計(C)	10,000	10,000	0
当期収支差額(A)-(C)	4	20	△ 16
次期繰越収支差額(B)-(C)	112	128	△ 16

収支予算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(収益事業特別会計)

1 収入の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 引 増 減
	千円	千円	千円
I 事業収入	133,702	133,856	△ 154
イベント収入	8,146	6,700	1,446
利用料収入	44,500	44,500	0
食喫収入	52,000	52,000	0
売店収入	11,000	11,000	0
自販機収入	6,100	6,100	0
販売収入	1,548	1,548	0
管理収入	4,408	4,408	0
補助金収入	6,000	7,600	△ 1,600
II 雑収入	382	407	△ 25
雑収入	377	377	0
受取利息	5	30	△ 25
III 特定資産取崩収入	0	0	0
経営基盤強化預金取崩収入	0	0	0
減価償却引当預金取崩収入	0	0	0
当期収入合計(A)	134,084	134,263	△ 179
前期繰越収支差額	5,371	4,624	747
収入合計(B)	139,455	138,887	568

2 支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 引 増 減
	千円	千円	千円
I 事業費	3,958	2,680	1,278
イベント原価	3,958	2,680	1,278
II 仕入原価	32,170	32,170	0
食喫原価	19,531	19,531	0
売店原価	7,700	7,700	0

自販機原価	3,965	3,965	0
販売原価	774	774	0
管理原価	200	200	0
III 事務管理費	97,746	98,999	△ 1,253
役員報酬	1,800	1,800	0
給職員手当	31,224	33,525	△ 2,301
賃通勤手当	13,579	13,442	137
旅費	8,287	8,112	175
厚生費	2,828	2,828	0
共用費	230	70	160
需用費	7,284	6,737	547
役施設管理費	156	150	6
施設外宣伝費	20,359	19,405	954
渉報費	6,367	6,642	△ 275
広会費	213	120	93
会費	48	48	0
雑費	1,780	1,720	60
雑損	36	36	0
負担金	256	500	△ 244
委託料	10	0	10
公租公課	20	20	0
經營基盤強化預金支出	10	10	0
減価償却費	2,424	2,424	0
什器備品購入支出	785	945	△ 160
	0	0	0
	0	465	△ 415
	0	0	0
IV 寄附金	10	10	0
寄附金	10	10	0
V 予備費	100	100	0
予備費	100	100	0
当期支出合計(C)	133,984	133,959	25
当期収支差額(A)-(C)	100	304	△ 204
次期繰越収支差額(B)-(C)	5,471	4,928	543

平成 2 4 年 9 月 1 1 日

市が資本金の 2 分の 1 以上を出資等
している法人の経営状況説明書
(公益財団法人

甘日市市文化スポーツ振興事業団)

目

次

公益財団法人 廿日市市文化スポーツ振興事業団

平成 2 3 年度事業報告書	P 1
平成 2 3 年度収支計算書（一般会計）	P 5
貸借対照表（平成 2 4 年 3 月 3 1 日現在）	P 7
平成 2 3 年度収支計算書（収益事業特別会計）	P 8
貸借対照表（平成 2 4 年 3 月 3 1 日現在）	P 11
平成 2 3 年度収支計算書（記念事業基金特別会計）	P 12
貸借対照表（平成 2 4 年 3 月 3 1 日現在）	P 13
平成 2 4 年度事業計画書	P 15
平成 2 4 年度収支予算書	P 17

事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

1 事業の概要

(1) 総括事項

市民の文化活動の普及振興を図るため、各種文化事業を自主的・積極的に展開し、地域文化の振興を図るとともに、優れた芸術文化の提供や文化活動の機会の拡充に努めた。

指定管理者として市民が快適に利用できるよう、はつかいち文化ホール及びはつかいち美術ギャラリーの円滑な管理運営に努めた。

(2) 処務に関する事項

ア 登記に関する事項

登記年月日	登 記 事 項
H23. 6. 8	理事の変更

イ 議決事項

機関名	議決年月日	件 名
理事会	H23. 5. 24	(1) 役員の選任について (2) 平成22年度財団法人廿日市市文化スポーツ振興事業団事業報告について (3) 平成22年度財団法人廿日市市文化スポーツ振興事業団一般会計収支決算について (4) 平成22年度財団法人廿日市市文化スポーツ振興事業団収益事業特別会計収支決算について (5) 平成22年度財団法人廿日市市文化スポーツ振興事業団記念事業基金特別会計収支決算について (6) 定款の変更の案について (7) 役員の報酬等に関する規程の一部改正について (8) 常勤役員の報酬額の決定について (9) 公益財団法人移行後の最初の評議員の選任方法について (10) 公益財団法人移行後の最初の評議員を選任する評議員選定委員の選任について

	H23. 8. 2	(1) 公益財団法人移行後の最初の評議員候補者の推薦について (2) 公益財団法人移行後の最初の評議員を選任する評議員選定委員の変更について (3) 公益財団法人移行後の最初の理事及び監事の選任について (4) 公益財団法人移行後の最初の理事長、副理事長及び常務理事の選任について (5) 公益財団法人移行後の最初の理事長、副理事長及び常務理事を「定款の変更の案」の附則へ掲名することについて (6) 公益財団法人移行認定申請書の提出について
	H24. 1. 19	(1) 役員の選任について
	H24. 3. 26	(1) 財団法人廿日市市文化スポーツ振興事業団専門委員会審議結果の報告について (2) 専決処分につき承認を求めることについて (3) 財団法人廿日市市文化スポーツ振興事業団会計処理規程の一部を改正する規程について (4) 平成 23 年度財団法人廿日市市文化スポーツ振興事業団一般会計補正予算（第 1 号）について (5) 平成 23 年度財団法人廿日市市文化スポーツ振興事業団収益事業特別会計補正予算（第 2 号）について (6) 平成 24 年度財団法人廿日市市文化スポーツ振興事業団事業計画について (7) 平成 24 年度財団法人廿日市市文化スポーツ振興事業団収支予算について

(3) 業務に関する事項

事業実績

ア 文化活動の推進

項 目	事 業 内 容
鑑 賞 事 業	市民に優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供し、豊かな創造性と情操のかん養に資するとともに、芸術文化活動の推進を図った。 1 文化ホール 「広島交響楽団第 14 回廿日市定期演奏会」ほか 16 事業を開催した。 延入場者数 11, 131 名

	2 美術ギャラリー 「高田力蔵展」ほか4事業を開催した。 延入場者数 12,351名
市民参加・創造事業	市民文化創造の場及び交流の拠点として、市民が参加し創造していく事業を展開し、個性的で魅力ある地域文化の創造に寄与した。 1 文化ホール 「第21回広島ビッグバンド・フェスティバル Hot Wave in さくらびあ」ほか9事業を開催した。 延入場者数 8,051名 2 美術ギャラリー 「きっず・あーと2012」を開催した。 延入場者数 1,933名
地域顕彰事業	特色ある優れた郷土の伝統芸能や地域で活躍する作家を広く市民に紹介し、その普及啓発に努めた。 1 文化ホール 郷土伝統芸能『説教源氏節人形芝居眺楽座』を開催した。 延入場者数 297名
利用促進事業	文化ホール、美術ギャラリーの利用を促進するため、魅力ある情報の提供や利用しやすい制度の活用を図るとともに、市民ニーズの的確な把握に努めた。 ① 情報紙発行事業 ② 友の会会員募集事業 ③ 事業ニーズアンケート調査 ④ インターネットを利用した情報の提供 ⑤ 「エフエムはつかいち」での情報提供
マスメディア等共同主催事業	報道機関等との共同主催事業などを実施し、優れた芸術文化の提供に努めた。 1 文化ホール 「厳島神社 奉納コンサート二胡の夕べ」ほか12事業を開催した。 延入場者数 10,713名
連携・共催事業	県・市及び地元の文化団体等と連携・協力する事業を実施し、市民が文化に触れる機会の充実を図った。 1 文化ホール 「ひろしま夏の芸術祭」ほか4事業を開催した。 延入場者数 2,281名 2 美術ギャラリー 「第39回 日本現代工芸美術中国会展」ほか5事業を開催した。 延入場者数 7,219名

はつかいち 音楽祭	はつかいちの文化度を高めるとともに、さくらびあを内外にアピールした。 1 文化ホール 「ソプラノデュエットコンサート@さくらびあ」ほか14事業を開催した。 延入場者数 5,901名
開館15年 記念事業	市民の印象に残るような芸術文化の記念事業を実施することにより、市民の文化活動の普及振興を図った。 1 文化ホール 「南こうせつコンサートツアー2011」を開催した。 延入場者数 983名

イ 施設の管理運営

廿日市市との指定管理者包括協定等に基づき、はつかいち文化ホール、はつかいち美術ギャラリーの円滑な管理運営に努めた。

(1) 施設別年間利用者数

事業年度	文化ホール	美術ギャラリー
平成19年度	146,091人	43,827人
平成20年度	165,925人	51,886人
平成21年度	162,896人	48,554人
平成22年度	160,383人	35,492人
平成23年度	169,096人	43,998人

ウ 委託販売の実施

項 目	事 業 内 容
委託販売の実施	はつかいち文化ホールに自動販売機の設置を行い、利用者の便宜を図った。

(一般会計)

収 支 計 算 書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

1 収入の部

科 目	当年度決算額	前年度決算額	差 引 増 減
	円	円	円
I 基本財産運用収入	270,000	300,000	△30,000
基本財産利息収入	270,000	300,000	△30,000
運用財産収入	270,000	300,000	△30,000
II 特定資産運用収入	3,977	3,213	764
特定資産利息収入	3,977	3,213	764
III 補助金等収入	37,047,653	36,554,293	493,360
市助成金収入	37,047,653	36,554,293	493,360
市助成金収入	37,047,653	36,554,293	493,360
IV 諸収入	3,162	3,125	37
雑収入	3,162	3,125	37
受取利息収入	3,162	3,125	37
当期収入合計 (A)	37,324,792	36,860,631	464,161
前期繰越収支差額	0	0	0
収入合計 (B)	37,324,792	36,860,631	464,161

2 支出の部

科 目	当年度決算額	前年度決算額	差 引 増 減
	円	円	円
I 事務管理費支出	35,070,297	34,701,509	368,788
事務局費支出	35,070,297	34,701,509	368,788
報酬支出	3,770,000	3,420,000	350,000
給料手当支出	20,896,287	19,812,214	1,084,073
法定福利費支出	3,610,683	3,463,069	147,614
臨時雇賃金支出	147,674	272,092	△124,418
報償費支出	14,000	0	14,000
旅費交通費支出	286,820	1,104,640	△817,820
消耗品費支出	216,098	253,688	△37,590
燃料費支出	81,629	68,810	12,819
食糧費支出	8,320	2,810	5,510
印刷製本費支出	1,890	0	1,890
通信運搬費支出	29,600	6,000	23,600
手数料支出	4,200	2,000	2,200
委託費支出	2,327,667	2,701,782	△374,115
使用料及び賃借料支出	3,411,419	3,400,304	11,115
負担金支出	170,500	194,100	△23,600
雑支出	93,510	0	93,510
II 特定資産取得支出	2,254,495	2,159,122	95,373
特定資産取得支出	2,254,495	2,159,122	95,373
退職給付引当資産取得支出	2,254,495	2,159,122	95,373
当期支出合計 (C)	37,324,792	36,860,631	464,161
当期収支差額 (A) - (C)	0	0	0
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	0	0

貸 借 対 照 表

平成24年3月31日現在

科 目	当 年 度 末	前 年 度 末	差 引 増 減
	円	円	円
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	10,379,924	13,014,605	△2,634,681
流動資産合計	10,379,924	13,014,605	△2,634,681
2 固定資産			
基本財産			
基本財産積立預金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
特定資産			
退職給付引当資産	22,296,185	20,041,690	2,254,495
特定資産合計	22,296,185	20,041,690	2,254,495
固定資産合計	72,296,185	70,041,690	2,254,495
資産合計	82,676,109	83,056,295	△380,186
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,671,527	3,331,155	△659,628
前受金	6,757,347	8,792,707	△2,035,360
預り金	951,050	890,743	60,307
流動負債合計	10,379,924	13,014,605	△2,634,681
2 固定負債			
退職給付引当金	22,296,185	20,041,690	2,254,495
固定負債合計	22,296,185	20,041,690	2,254,495
負債合計	32,676,109	33,056,295	△380,186
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄附金	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	0	0	0
正味財産合計	50,000,000	50,000,000	0
負債及び正味財産合計	82,676,109	83,056,295	△380,186

(収益事業特別会計)

収 支 計 算 書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

1 収入の部

科 目	当年度決算額	前年度決算額	差 引 増 減
	円	円	円
I 特定資産運用収入	1,388	982	406
特定資産利息収入	1,388	982	406
II 事業収入	45,606,776	35,322,319	10,284,457
委託販売収入	371,501	323,463	48,038
文化ホール委託販売収入	371,501	323,463	48,038
文化ホール事業収入	40,794,475	34,159,892	6,634,583
文化ホール事業収入	40,794,475	34,159,892	6,634,583
美術ギャラリー事業収入	4,440,800	838,964	3,601,836
美術ギャラリー事業収入	4,440,800	838,964	3,601,836
III 利用料金収入	27,400,660	24,632,080	2,768,580
文化ホール利用料金収入	26,755,800	24,002,660	2,753,140
文化ホール利用料金収入	26,755,800	24,002,660	2,753,140
美術ギャラリー利用料金収入	644,860	629,420	15,440
美術ギャラリー利用料金収入	644,860	629,420	15,440
IV 管理委託収入	180,582,000	180,582,000	0
文化ホール管理委託収入	149,857,000	149,857,000	0
文化ホール管理委託収入	149,857,000	149,857,000	0
美術ギャラリー管理委託収入	30,725,000	30,725,000	0
美術ギャラリー管理委託収入	30,725,000	30,725,000	0
V 補助金等収入	2,252,000	525,000	1,727,000
民間助成金収入	2,252,000	525,000	1,727,000
民間助成金収入	2,252,000	525,000	1,727,000
VI 諸収入	3,003,313	5,538,511	△2,535,198
雑収入	3,003,313	5,538,511	△2,535,198
受取利息収入	18,110	16,087	2,023
雑収入	2,985,203	5,522,424	△2,537,221
VII 他会計からの繰入金収入	6,500,000	0	6,500,000
記念事業基金特別会計	6,500,000	0	6,500,000
からの繰入金収入			
当期収入合計 (A)	265,346,137	246,600,892	18,745,245
前期繰越収支差額	34,759,109	31,347,884	3,411,225
収入合計 (B)	300,105,246	277,948,776	22,156,470

2 支出の部

科 目	当年度決算額	前年度決算額	差 引 増 減
	円	円	円
I 事業費支出	86,178,007	75,551,788	10,626,219
文化ホール事業費支出	71,457,300	66,492,065	4,965,235
報償費支出	1,168,495	2,195,550	△1,027,055
旅費交通費支出	502,299	511,370	△9,071
消耗品費支出	618,217	593,378	24,839
食糧費支出	463,399	298,251	165,148
印刷製本費支出	4,261,663	3,985,317	276,346
通信運搬費支出	2,607,049	2,613,427	△6,378
手数料支出	1,315,774	1,065,886	249,888
保険料支出	112,359	8,315	104,044
広告料支出	8,580,538	10,483,260	△1,902,722
委託費支出	43,283,306	39,178,974	4,104,332
使用料及び賃借料支出	1,124,642	754,877	369,765
助成金支出	468,000	702,000	△234,000
負担金支出	6,901,559	4,101,460	2,800,099
租税公課支出	50,000	0	50,000
美術ギャラリー事業費支出	14,720,707	9,059,723	5,660,984
臨時雇賃金支出	696,793	46,935	649,858
報償費支出	380,044	157,587	222,457
旅費交通費支出	711,890	590,080	121,810
消耗品費支出	303,514	195,269	108,245
印刷製本費支出	1,808,571	2,340,353	△531,782
通信運搬費支出	430,128	261,920	168,208
手数料支出	29,400	29,400	0
保険料支出	507,075	10,032	497,043
広告料支出	1,438,977	664,650	774,327
委託費支出	6,230,380	4,627,727	1,602,653
使用料及び賃借料支出	276,935	100,770	176,165
負担金支出	1,907,000	35,000	1,872,000
II 施設管理費支出	173,967,358	165,066,897	8,900,461
文化ホール施設管理費支出	150,080,730	142,040,656	8,040,074
報酬支出	20,635,012	17,176,948	3,458,064
給料手当支出	23,177,450	22,254,280	923,170
法定福利費支出	5,999,177	5,295,286	703,891
臨時雇賃金支出	11,296,722	10,613,619	683,103
報償費支出	0	60,000	△60,000
旅費交通費支出	564,088	512,524	51,564
備品購入費支出	508,800	941,490	△432,690
消耗品費支出	2,589,402	2,510,968	78,434

光熱水料費支出	20,936,185	20,657,630	278,555
修繕費支出	4,419,161	5,329,085	△909,924
通信運搬費支出	599,725	591,690	8,035
手数料支出	642,885	620,985	21,900
保険料支出	42,360	38,380	3,980
委託費支出	49,445,528	46,472,600	2,972,928
使用料及び賃借料支出	3,724,806	3,668,185	56,621
負担金支出	33,582	33,582	0
租税公課支出	4,872,497	4,396,094	476,403
償還金支出	593,350	867,310	△273,960
美術ギャラリー施設管理費支出	23,886,628	23,026,241	860,387
報酬支出	464,681	0	464,681
給料手当支出	13,646,738	12,256,504	1,390,234
法定福利費支出	1,758,506	1,558,987	199,519
臨時雇賃金支出	3,365,230	3,036,305	328,925
旅費交通費支出	4,000	0	4,000
備品購入費支出	58,800	0	58,800
消耗品費支出	164,891	373,785	△208,894
印刷製本費支出	0	122,325	△122,325
光熱水料費支出	1,636,220	1,614,433	21,787
修繕費支出	264,075	1,384,425	△1,120,350
通信運搬費支出	70,999	68,529	2,470
手数料支出	55,860	0	55,860
委託費支出	1,421,854	1,604,213	△182,359
使用料及び賃借料支出	235,971	230,229	5,742
租税公課支出	738,803	776,506	△37,703
Ⅲ 特定資産取得支出	1,583,469	1,570,982	12,487
特定資産取得支出	1,583,469	1,570,982	12,487
退職給付引当資産取得支出	1,583,469	1,570,982	12,487
Ⅳ 他会計への繰入金支出	0	1,000,000	△1,000,000
記念事業基金特別会計繰出金	0	1,000,000	△1,000,000
当期支出合計 (C)	261,728,834	243,189,667	18,539,167
当期収支差額 (A) - (C)	3,617,303	3,411,225	206,078
次期繰越収支差額 (B) - (C)	38,376,412	34,759,109	3,617,303

貸 借 対 照 表

平成24年3月31日現在

科 目	当 年 度 末	前 年 度 末	差 引 増 減
	円	円	円
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	58,121,711	62,482,581	△4,360,870
未収金	2,782,138	916,820	1,865,318
仮払金	42,360	0	42,360
流動資産合計	60,946,209	63,399,401	△2,453,192
2 固定資産			
特定資産			
退職給付引当資産	8,619,255	7,035,786	1,583,469
特定資産合計	8,619,255	7,035,786	1,583,469
固定資産合計	8,619,255	7,035,786	1,583,469
資産合計	69,565,464	70,435,187	△869,723
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	14,175,125	22,432,417	△8,257,292
預り金	8,394,672	6,207,875	2,186,797
流動負債合計	22,569,797	28,640,292	△6,070,495
2 固定負債			
退職給付引当金	8,619,255	7,035,786	1,583,469
固定負債合計	8,619,255	7,035,786	1,583,469
負債合計	31,189,052	35,676,078	△4,487,026
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産			
一般正味財産	38,376,412	34,759,109	3,617,303
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	38,376,412	34,759,109	3,617,303
負債及び正味財産合計	69,565,464	70,435,187	△869,723

(記念事業基金特別会計)

収 支 計 算 書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

1 収入の部

科 目	当年度決算額	前年度決算額	差 引 増 減
	円	円	円
I 特定資産運用収入	7,524	6,937	587
特定資産利息収入	7,524	6,937	587
II 特定資産取崩収入	6,500,000	0	6,500,000
特定資産取崩収入	6,500,000	0	6,500,000
記念事業基金積立資産 取崩収入	6,500,000	0	6,500,000
III 他会計からの繰入金収入	0	1,000,000	△1,000,000
収益事業特別会計からの繰入金収入	0	1,000,000	△1,000,000
当期収入合計 (A)	6,507,524	1,006,937	5,500,587
前期繰越収支差額	0	0	0
収入合計 (B)	6,507,524	1,006,937	5,500,587

2 支出の部

科 目	当年度決算額	前年度決算額	差 引 増 減
	円	円	円
I 他会計への繰入金支出	6,500,000	0	6,500,000
収益事業特別会計 繰出金	6,500,000	0	6,500,000
II 特定資産取得支出	7,524	1,006,937	△999,413
特定資産取得支出	7,524	1,006,937	△999,413
記念事業基金積立資産 取得支出	7,524	1,006,937	△999,413
当期支出合計 (C)	6,507,524	1,006,937	5,500,587
当期収支差額 (A) - (C)	0	0	0
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	0	0

貸 借 対 照 表

平成24年3月31日現在

科 目	当 年 度 末	前 年 度 末	差 引 増 減
	円	円	円
I 資産の部			
1 固定資産			
特定資産			
記念事業基金積立資産	33,115,659	39,608,135	△6,492,476
特定資産合計	33,115,659	39,608,135	△6,492,476
固定資産合計	33,115,659	39,608,135	△6,492,476
資産合計	33,115,659	39,608,135	△6,492,476
II 負債の部			
1 固定負債			
記念事業基金積立金	33,115,659	39,608,135	△6,492,476
固定負債合計	33,115,659	39,608,135	△6,492,476
負債合計	33,115,659	39,608,135	△6,492,476
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(33,115,659)	(39,608,135)	(△6,492,476)
正味財産合計	0	0	0
負債及び正味財産合計	33,115,659	39,608,135	△6,492,476

事業計画書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

1 総括事項

(1) 業務方針

財団法人廿日市市文化スポーツ振興事業団は平成6年に設立され、市民の文化活動の普及振興を図るため、各種の文化及びスポーツ事業を自主的・積極的に展開し、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の創造、市の文化及びスポーツの普及、発展に寄与してきたところである。

平成18年度から平成20年度までの間は、はつかいち文化ホール、はつかいち美術ギャラリー及び廿日市市スポーツセンターの指定管理者として管理運営を行い、平成21年度からは、指定管理期間が満了した廿日市市スポーツセンターを除く文化ホール、美術ギャラリー2施設の指定管理者として、引き続き管理運営に当たっている。

平成24年度からは、広島県知事の認定を受け、公益財団法人廿日市市文化スポーツ振興事業団として新たなスタートを切ることになり、これまで以上に利用者の立場に立った、公益性の高い施設の管理運営と多様な文化・芸術事業の積極的な展開を目指し、市民の文化活動の普及振興に取り組んで行きたいと考えている。

また、公益法人としての事業団は、市民への適切かつ安定したサービス提供とその向上が使命であり、同時に運営面において、なお一層の効率性や採算性が強く求められるところである。

指定管理者としても文化ホール、美術ギャラリー2施設の指定管理期間が、3年から5年となり、今まで以上に長期的な視野に立った運営が要求される。

こうした中で、本事業団は、次の事業を実施し、多様化するニーズに対応したサービスの提供に取り組むものとする。

(2) 事業内容

ア 文化活動の推進

項 目	事 業 内 容
鑑 賞 事 業	市民に優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供し、豊かな創造性と情操のかん養に資するとともに、芸術文化活動の推進を図る。
市民参加・創造事業	市民文化の創造や交流の拠点として、市民が参加し、創造していく事業を展開し、個性的で魅力ある地域文化の創造に寄与する。
地域顕彰事業	特色ある優れた郷土の伝統芸能や郷土作家の活動を広く市民に紹介し、普及啓発に努める。

利用促進事業	文化ホール、美術ギャラリーの利用を促進するため、魅力ある情報の提供や利用しやすい制度の活用を図るとともに市民ニーズの的確な把握に努める。
マスメディア等共同主催事業	報道機関等との共同主催事業などを実施し、優れた芸術文化の提供に努める。
連携・共催事業	県・市及び地元の文化団体等と連携・協力する事業を実施し、市民が文化に触れる機会を充実させる。
はつかいち音楽祭	はつかいちの文化度を高めるとともに、さくらびあを内外にアピールする。
記念事業	市民の印象に残るような芸術文化の記念事業を実施することにより、市民の文化活動の普及振興を図る。

イ 施設の管理運営

項 目	事 業 内 容
文化施設の管理運営	廿日市市との指定管理者包括協定及び年度別協定等に基づき、次の施設の管理運営を行う。 管理施設 ・ はつかいち文化ホール ・ はつかいち美術ギャラリー

ウ その他の事業

項 目	事 業 内 容
自動販売機設置事業	はつかいち文化ホールに自動販売機の設置を行い、利用者の便宜を図る。
受託チケット販売事業	文化ホール窓口で他事業者が主催する公演チケットの受託販売を行う。
図録等販売事業	美術ギャラリーで図録等を製作・販売するほか、自主展覧会の作家の絵葉書や小物を来場者に販売する。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

科 目	当年度 予算額	前年度 予算額	差 引 増 減
I 一般正味財産増減の部	円	円	円
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	260,000		260,000
基本財産受取利息	260,000		260,000
特定資産運用益	7,000		7,000
特定資産受取利息	7,000		7,000
事業収益	61,250,000		61,250,000
委託販売収益	480,000		480,000
文化ホール委託販売収益	480,000		480,000
文化ホール事業収益	57,505,000		57,505,000
文化ホール事業収益	57,505,000		57,505,000
美術ギャラリー事業収益	3,265,000		3,265,000
美術ギャラリー事業収益	3,265,000		3,265,000
利用料金収益	27,200,000		27,200,000
文化ホール利用料金収益	26,500,000		26,500,000
文化ホール利用料金収益	26,500,000		26,500,000
美術ギャラリー利用料金収益	700,000		700,000
美術ギャラリー利用料金収益	700,000		700,000
管理受託収益	180,582,000		180,582,000
文化ホール管理受託収益	149,857,000		149,857,000
文化ホール管理受託収益	149,857,000		149,857,000
美術ギャラリー管理受託収益	30,725,000		30,725,000
美術ギャラリー管理受託収益	30,725,000		30,725,000
受取補助金等	49,299,000		49,299,000
受取市助成金	39,099,000		39,099,000
受取市助成金	39,099,000		39,099,000
受取民間助成金	10,200,000		10,200,000
受取民間助成金	10,200,000		10,200,000
諸収益	3,076,500		3,076,500
雑収益	3,076,500		3,076,500
受取利息	23,000		23,000
雑収益	3,053,500		3,053,500
経常収益計	321,674,500		321,674,500

(2) 經常費用		
事業費	297,169,950	297,169,950
報酬	342,000	342,000
給料手当	56,909,283	56,909,283
法定福利費	7,571,184	7,571,184
臨時雇賃金	13,432,140	13,432,140
報償費	2,077,800	2,077,800
旅費交通費	1,286,000	1,286,000
備品購入費	500,000	500,000
消耗品費	5,267,150	5,267,150
食糧費	928,000	928,000
印刷製本費	7,060,000	7,060,000
光熱水料費	21,605,106	21,605,106
修繕費	5,800,000	5,800,000
通信運搬費	5,471,000	5,471,000
支払手数料	2,716,510	2,716,510
保険料	102,000	102,000
広告料	17,798,650	17,798,650
委託費	122,729,340	122,729,340
使用料及び賃借料	6,536,470	6,536,470
支払負担金	9,895,950	9,895,950
支払助成金	234,000	234,000
租税公課	5,967,000	5,967,000
償還金	1,200,000	1,200,000
退職給付費用	1,740,367	1,740,367
管理費	39,069,000	39,069,000
報酬	3,498,000	3,498,000
給料手当	22,033,000	22,033,000
法定福利費	4,102,000	4,102,000
臨時雇賃金	1,571,000	1,571,000
交際費	100,000	100,000
旅費交通費	337,000	337,000
消耗品費	227,000	227,000
燃料費	77,000	77,000
食糧費	10,000	10,000
通信運搬費	30,000	30,000
支払手数料	10,000	10,000
委託費	1,142,000	1,142,000
使用料及び賃借料	3,258,000	3,258,000
支払負担金	224,000	224,000
租税公課	1,000	1,000
雑費	50,000	50,000
退職給付費用	2,429,000	2,429,000

経常費用計	336,238,950		336,238,950
当期経常増減額	△14,564,450		△14,564,450
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0		0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0		0
当期経常外増減額	0		0
当期一般正味財産増減額	△14,564,450		△14,564,450
一般正味財産期首残高	124,367,244		124,367,244
一般正味財産期末残高	109,802,794		109,802,794
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0		0
指定正味財産期首残高	0		0
指定正味財産期末残高	0		0
Ⅲ 正味財産期末残高	109,802,794		109,802,794

(注) 公益法人会計基準の運用指針(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)附則第1項に基づき前年度予算額の記載は省略している。

